

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	管理会計論B（Management Accounting B）		
ナンバリングコード	E30607	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 会計ファイナンス
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修:会計ファイナンスコース 選択:地域マネジメントコース、Bソリューションコース、スポーツビジネスコース、こども・福祉コース コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E009151	クラス名	-
担当教員名	工藤 順一、橋本 堅次郎		
履修上の注意、履修条件	会計の関連科目をしっかり勉強しましょう。そして、できるだけ毎日、企業の新製品の開発等の経営関連の記事に目を通してほしいと思います。 将来の就職に備え、実践で活かそうという気持ちで受講してください。就職すると、どの職場でもコスト削減努力を要求されますので、どうしたらコストを削減できるかを、学生のときから少しずつ考えるようにしましょう。		
教科書	「稲盛和夫の実学」(日経ビジネス人文庫)、「論語と算盤」(ちくま新書)		
参考文献及び指定図書	稲盛和夫著「高収益企業のつくり方」(日本経済新聞社) 大野耐一著「トヨタ生産方式」ダイヤモンド社他 TAC出版「合格テキスト 日商簿記2級 工業簿記、同1級 工業簿記・原価計算」		
関連科目	原価計算論A・B、管理会計論A、財務管理論		

○基本情報		
授業の目的	2年生までは、簿記や財務諸表論等の財務会計を学習してきました。財務会計は、企業外部の利害関係者に、情報を提供することを目的としています。 一方、管理会計は、企業内部の経営者への報告を目的とする会計です。 管理会計論Bでは、京セラ相談役の稲盛和夫氏が書いた「実学」というテキストをもとに、稲盛氏が京セラを創業・経営していく上で、会計をどのように捉え、いかに会計を実際の経営に役立てていったかを学習します。	
授業の概要	事前に、レジュメを配布します。皆さんは、事前にレジュメを読んでおいてください。 また、新聞記事やDVD等により、企業に実際に起こっている事例を取り上げながら、会計数値の裏側にある「業務の実態」についても読み解いていきます。 皆さんは、この授業を通して、企業がコストを下げるためにどうしているかをつかんでください。 そして、将来、皆さんが、企業の経営者・幹部になったときに、目標となる数値をいかに達成していくかを考えてください。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	工藤順一は、大分県内の100社以上の大分県の経営革新計画の事業計画書作成を支援してきました。また、シニアIMとして多くの企業の創業を支援してきた実績があります。多くの企業の事業計画書作成等に携わってきた経験を、皆さんの実践的な知識の習得に生かしたいと考えます。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	① 経理の担当者、もしくは企業の経営者として、経営内容を数値で理解できるようになる。	10点	10点	10点
【知識・理解】	② 会社を数値で管理するための基礎知識が身についている。 ③ 会社を維持発展するための経営上の諸方策について理解している。	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	④ 決算書を見て、その会社の財政状態と経営成績を表現することができる。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	⑤ 予算編成や事業計画の作成ができる。	10点	10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
講義の最後に授業内容について課題を出すことがあります。課題は必ず提出してください。課題のフィードバック方法は、次回の講義までに、グーグルクラスで、課題試験の平均点とその分布、課題の解答を添付して配布します。 達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 授業の中で、適宜質問をします。優れた解答をした者は、記録して加点することがあります。	

○その他	
教員との連絡方法:研究室に気軽にお越しください。また、質問のある方は、グーグル クラス等で何でも質問してください。	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	管理会計論B (Management Accounting B)	授業コード	E009151
	担当教員	工藤 順一、橋本 堅次郎		
学修内容				
1. 管理会計と財務会計の相違				
管理会計と財務会計との相違点を学習していきます。会計の2大領域である財務会計と管理会計との対比を最初に説明します。それによって、管理会計の特徴がより明らかになると考えます。管理会計は、主に企業内部の人への情報提供であり、財務会計のように制度会計には縛られない自由な報告となります。				
予習	1年・2年で学んだ財務会計の意義について復習しておきましょう。			(約2.0h)
復習	管理会計の意義について、その対象、会計期間、報告書の書式について復習しておきましょう。			(約2.0h)
2. 経営のための会計学の実践				
経営に役立つ会計とはどうあるべきか。事業を安定軌道に乗せようと思うのなら、数字に明るく、しかも「安定性」を持続する会計でなくてはなりません。安定は、「儲け」の中から出てくるということも覚えておく必要があります。「儲け」するためにはどうすればいいのか。企業を長期的に発展させるためには、企業活動の実態が正確に把握されなければなりません。そうした実践的な会計学とは何かを学びましょう。				
予習	企業の目的は利益を上げることですが、それだけで良いのか考えてみましょう。			(約2.0h)
復習	経営に役立つ会計とはどのような会計をいうのか復習しておきましょう。			(約2.0h)
3. 京セラ設立時の会計に対する認識				
稲盛和夫の実学のテキストに入っていきます、著者はテキストの中で、京セラを設立したときの「会計」に対する認識の欠如を語っています。特に、会計の本質とそこに働く原理原則の欠如について触れています。私たちも、経営における会計の役割を最初にしっかり理解しましょう。全く会計の知識がない学生にも分かるように進めるつもりです。				
予習	経営者にとって、会計は不要なのか、専門家に任せておけば良いのか、考えてみましょう。			(約2.0h)
復習	真剣に働いているのに、一向に経営が楽にならないのは、どこに原因があるのか、考えてみましょう。			(約2.0h)
4. 減価償却費の計算				
企業会計原則によると、資産の取得原価は、資産の種類に応じた費用配分の原則によって、各事業年度に配分しなければなりません。有形固定資産は、その取得原価を、当該固定資産の耐用期間にわたり、一定の減価償却方法によって各事業年度に配分し、無形固定資産及び繰延資産は、有償取得の対価を一定の償却方法によって各事業年度に配分しなければなりません。減価償却は、費用配分の原則に基づいて有形固定資産の取得原価をその耐用期間における各事業年度に配分することを学習していただきます。				
予習	固定資産の耐用年数について、その意義をまとめてきてください。			(約2.0h)
復習	耐用年数を超過した固定資産は、破棄すべきかどうかあなたの考えをまとめましょう。			(約2.0h)
5. 常識に支配されない判断基準				
「常識」とらわれず、本質を見極め正しい判断を積み重ねていくことが、絶えず変化する経営環境の中では必要です。このため、経営においてもすべての考え方の根本となるものとしての「根本の考え方」について学習します。				
予習	会計における常識とは、どのようなものか考えてみましょう。			(約2.0h)
復習	変化の中にある会社にとって、常識では判断できない事例を新聞紙上で探してみましょう。			(約2.0h)
6. 売上を最大に、経費を最小に				
「私の会計学と経営」には、「京セラの会計システムを貫く考え方」として、「企業の会計は、この『売上を最大に、経費を最小に』という経営の原点を経営者が効率よく追及できるようにしたものであり、しかもその成果を明瞭に表現しているものでなければならない」とあります。				
「売上を最大に、経費を最小に」ということが「経営の原点」であるのです。この「売上を最大に」するためには、値決めについて、学びます。				
予習	売上を伸ばすことと、経費を下げることを利益にどのように連動するかを予習してきましょう。			(約2.0h)
復習	値決めを行う場合、売る方と買う方とのバランスをどうとるべきかについて実際の事例をまとめておきましょう。			(約2.0h)
7. キャッシュベースで経営する				
キャッシュベースの経営というのは、お金の動きに焦点を当てて、物事の本質に基づいたシンプルな経営を行うことを意味しています。会計はキャッシュベースで経営をするためのものがなければなりません、というのが稲盛和夫の会計学の第1の基本原則です。キャッシュベースで経営するとは、お金の動きに焦点を当ててシンプルな経営を行うことを意味しています。「配当するお金がなくて、わざわざ銀行から借りてくるというのでは、儲かったといえるのだろうか」という疑問から「なぜレジからお金を持ち出してはいけないか」「等キャッシュフローマネジメントの重要性について学びます。				
予習	経費の削減のためには、シンプルなチェックが良いと意見について、あなたの考えを述べなさい。			(約2.0h)
復習	ダブルチェック体制を、保護メカニズムというのは、なぜか？その理由を述べなさい。			(約2.0h)
8. 資産と費用との違い				
何度も繰り返し使えて、その価値が残るものは、会計上資産とすることになっているが、「本当に財産としての価値を持つものなのか、そうでないのか」というのは、経営者が判断すべきものです。そしてその判断の善し悪しの結果は、全て経営者の責任です。経営者にとって捨てる以外に方法がないものは、資産といえませんが、経費で処理すべきです。以上のような稲盛さんの、考え方を学習します。				
予習	借入金を増やした場合、貸借対照表と損益計算書のどの勘定科目に変化が起こるのか、考えましょう。			(約2.0h)
復習	売上高経常利益率とは、どの利益を指しているのか、復習しておきましょう。			(約2.0h)

○授業計画	科目名	管理会計論B（Management Accounting B）	授業コード	E009151
	担当教員	工藤 順一、橋本 堅次郎		
学修内容				
9. 土俵の真ん中で相撲をとる(事例の研究)・損益計算書の利益(勘定あって銭足らず)				
ダム式経営と同じ趣旨で、「土俵の真ん中で相撲をとる」というものがあります。土俵際ではなく、まだ余裕のある土俵の真ん中で相撲をとるようにするという意味です。常にお金のことについて心配しなくても、安心して仕事ができるようにすべきだ」ということです。勘定合って銭足らずとは、帳簿上の収支の計算は合っているが、実際の現金が足りないということから、理論と現実とが一致しないということをとたえていう言葉です。				
予習	透明な経営とはどのような経営をいうのか、考えてきましょう。			(約2.0h)
復習	財務諸表の役割は何か。社員の伝えるためには、どのような財務諸表をつくるべきか、まとめてください。			(約2.0h)
10. 勘定合って銭足らず				
利益が出ているのに資金が足りなくなることの意味で、手元資金が足りなくなことを「ショートする」とも言います。損益計算書では利益が出ているのに、手元資金がショートしてしまいます。極端な場合は、利益が出ているのに黒字倒産になってしまう企業もあります。今回は、『稲盛和夫の実学』第1章の最終節である第4節「勘定合って銭足らず」の紐解きをしましょう。				
予習	借入金を増やした場合、貸借対照表と損益計算書のどの勘定科目に変化が起こるのか、考えましょう。			(約2.0h)
復習	売上高経常利益率とは、どの利益を指しているのか、復習しておきましょう。			(約2.0h)
11. 一対一対応の原則				
実学のすべては、この一対一対応の原則から始まっていると言っても過言ではないと思います。経営活動では、すべてモノやお金が動くことになります。その時に必ず、「モノやお金と、伝票を一対一で対応させなければならない」というのが、この一対一対応の原則です。				
予習	取引の中で、モノとお金の二つの流れがあることを調べておきましょう。			(約2.0h)
復習	モノとお金と伝票が一対一の対応を保つとは、どのようなことをいうのか、復習しておきましょう。			(約2.0h)
12. コスト削減の仕方(5Sについて)				
ソニー、キヤノンなど約300社のカイゼンを指導してきた伝説の経営コンサルタント、山田日登志氏。山田氏が約40年かけて培った手法・手順や、カイゼンで成果を上げる上で不可欠な心構えについて学習します。山田氏の事業におけるコスト削減方法を見ながら、具体的なカイゼン事例を学びます。				
予習	損益計算書の費用をいかにして削減するかを、考えてきましょう。			(約2.0h)
復習	コスト削減における5Sをあなたの日常生活にいかに生かすかを考えましょう。			(約2.0h)
13. 単純原価計算の復習				
単純総合計算は、総合原価計算の一つで、同種の製品を反復連続的に生産する生産形態に適用される原価計算方法です。皆さんが就職を希望する大手の企業で採用されている総合原価計算について復習しましょう。				
予習	売掛金の貸倒れが利益にどのように影響するかを予習してきましょう。			(約2.0h)
復習	経理処理の正確さが顧客満足にどうつながるかまとめてきてください。			(約2.0h)
14. 減価償却費の計算(中古資産を含む)				
中古資産を取得して事業の用に供した場合には、その資産の耐用年数は法定耐用年数ではなく、その事業の用に供した時以後の使用可能期間として見積もられる年数によることができます。使用可能期間の見積りが困難であるときは、簡便法により算定した年数によることができます。こうした、中古資産の減価償却の方法を学習します。				
予習	中古資産の定義及びなぜ耐用年数が変わるのか、その理由について、事前に調べておきましょう。			(約2.0h)
復習	定率法を採用した場合、耐用年数が2年の場合、なぜ全額償却となるのか考えてみましょう。			(約2.0h)
15. まとめ 直接原価計算(CVP分析)				
CVP分析は直接原価計算の考え方を利用したものです。すなわち、原価を変動費と固定費とに分類して分析を加えていきます。ただ、これまでの計算方法とは、将来の原価や利益を予測するという点で異なってきますので、直接原価計算の考え方を学習しましょう。また、期末試験の試験の対象範囲や試験の出し方についても説明します。				
予習	2年生で学んだCVP分析について、その意義を再度確認してきてください。			(約2.0h)
復習	CVP分析と売上、コスト、利益の関係をまとめておきましょう。			(約2.0h)
16. 期末試験				
これまで学習してきた内容についてレポートを含めた試験を行います。				
予習	15回目に配布した資料に基づいて、問題を解いてきてください。			
復習	試験で間違った問題について、再度解答方法を確認しておきましょう。			